



温泉を維持・管理する作業を手伝う

自然の恵みである源泉は手入れなくては、安心して入れる温泉になりません。普段から源泉や配管清掃なども行っています。普段目にしない源泉の様子、そのメンテナンスなどの湯守が日常行う作業と一緒にすることで、温泉の維持管理について知ることが出来ます。配管のメンテナンスは営業期間中は週1回行っていますが、冬期閉鎖中は雪のため、月に2回ほどスノーシューを履いてスノートレッキングしながら作業を行います。



大自然を体験できる栗駒で子どもたちと活動したい

お金がない私たちでも自然の体験のない子どもたちにプログラムを提供したい、そんな夢を応援団員や地域の人たちが応援してくれて、2018年3月に3人の学童っ子がやってきました。施設見学を頼んだ応援団員の勤める木の屋石巻水産さんに缶詰を寄付いただき、子どもたちがバザーで売って資金を稼ぎました。様々な人が協力してくれることで、夢を実現するという体験はとても貴重なもので、企画した私たちも元気をもらいました。



地元の山岳指導隊が自然観察会を、地区の除雪基地や岩魚の養魚場、ジオパーク推進協議会で見学をさせてもらい、次回はファーム千葉でイチゴハウスを、ジオパークはビジターセンター、伊豆沼ではサンクチュアリセンターを、宿泊はくりこま高原自然学校、入浴はくりこま荘やハイルザーム栗駒と皆さんの協力で、たった3人ですが、受け入れることができました。お金がなくても、様々な人に協力してもらうことで夢はかなえられると、子どもたちに伝えられたら…本当にうれしいことです。2019年も2人の子どもたちが来ます。このような活動を通じ、山に来てくれる人を増え、住む人や仕事も増えるよう、また、様々な人との交流がみんなの明日につながればと願っています。



冬の活動も楽しもう

雪の多い所なので、冬期休業中の冬場は雪かきの作業、温泉施設の雪下ろし、除雪なども皆と一緒にしています。薪割など普段しないような作業や雪の頃はスノーシューを履いて出かけたりと、雪を体験する活動になり、自然の雄大さを満喫できます。雪下ろしや、除雪作業も、この辺りの雪は比較的軽いので、皆で行うと楽しい活動です。



森の再生と駒の湯を癒しの場所へ

駒の湯周辺の森を守るためにも草刈りや間引きなど細かな作業も行っています。また、駒の湯被災地の大部分は県の河川敷になっていますが、「くりこま絆の森プロジェクト」として被災地を100年の森にしようと、県砂防ボランティアなどの団体が中心に行っている植樹活動をしています。いつか青々とした木々が駒の湯を囲み、再び桃源郷のような場所になるようにと願って作業を続けています。



また、少しでも癒しの場になるようにと温泉周辺の整備やガーデニングも持ち込みで作業してもらっています。群馬の方が寄付してくれる水仙の球根を植える作業や普段の手入れや草刈り、草取りも、来れるときに出来ることをしてもらって進んできています。慰霊碑周辺の植栽等も地区の方が作業をしてくれる予定になっています。

木の屋石巻水産で出張そば屋

応援団員でもある社員さんのつながりで木の屋さんの商品を置かせてもらっていますが、美里工場12月のお祭りに出前そば屋をさせてもらっています。皆で楽しく出店しています。



駒の湯温泉の運営と一緒に

応援団員は営業中の受付・案内・手伝い、番頭もしています。また、手芸品や木札、Tシャツの制作、販売、または購入し、身につけて宣伝をしてくれています。400年記念誌、通信、パンフレットやHP・動画などの作成、ガーデニングなど様々な得意分野や好きなことを活かした形でのお手伝いをしています。

駒の湯応援団は、駒の湯温泉が好きな仲間が集まり、温泉の維持継続のための活動をし、栗駒の自然を愛し、大切に作る仲間の集まりです。



みなさんが短い時間でも、一回でも活動に参加してもらえたらうれしいです。また活動はできないが、ご寄付の意味で応援団に入団いただくことも可能です。ご賛同いただき、ご入団ください。皆さまのお越しをお待ちしています。

【駒の湯温泉応援団についての問い合わせ先】
〒989-5371 宮城県栗原市栗駒沼倉耕英東88
駒の湯温泉応援団
TEL/FAX:0226-46-2110
Mail:info@komanoyu.fun

○郵便局からお振り込み
口座記号番号:02270-3-120067
加入者名:駒の湯温泉復活応援団
○郵便局以外の金融機関からお振り込み
金融機関:ゆうちょ銀行(コード9900)
店名:二二九(二ニキユウ)
預金種目:当座 口座番号:0120067
口座名義:駒の湯温泉復活応援団